

文 化 財

1 文化財保護事業

(1)文化財保護審議会

ア 京丹後市文化財保護審議会

第1回 平成25年7月22日(月) 大宮庁舎4階 第2会議室

平成25年度文化財関係事業について、京丹後市指定文化財について

第2回 平成25年10月22日(火) 大宮庁舎4階 第2会議室

平成25年度文化財関係事業について、市内資料館の運営について、
京丹後市指定文化財について

第3回 平成26年2月7日(金) アグリセンター大宮 視聴覚教育室

平成25年度文化財関係事業について、網野郷土資料館について、
京丹後市指定文化財について

第4回 平成26年3月26日(水) アグリセンター大宮 視聴覚教育室

平成25年度文化財関係事業について、網野郷土資料館について、
京丹後市指定文化財について

イ 両丹文化財保護連絡協議会への参加

平成25年11月27日(水) 与謝野町 加悦保健センター「元気館」

文化財としての地域の樹木及び鎮守の杜(社叢)の学習をテーマに、7つの市
町から文化財保護審議会委員や関係者を含め約60人が参加し交流を深めた。

ウ 平成25年度京丹後市文化財保護審議会委員視察研修の開催

平成26年2月21日(金)～22日(土) 研修地:長岡京市・八尾市 他
史跡整備の先進地、学校閉校後の活用例について研修を行った。

(2)指定文化財等管理事業

ア 京丹後市指定文化財等補助金

交付件数 17 件 交付金額 合計 2,000,000 円

京丹後市内の市指定文化財や未指定文化財について、建造物の修理や保存施設の整備、民俗芸能等の道具、衣装の修繕などの事業に対して補助金の交付を行った。

イ 史跡等維持管理

史跡維持管理事業 委託事業件数 18 件 金額 1,597,600 円

市内に所在する国・府・市指定史跡等について、草刈り等の維持管理を実施した。

ウ 指定文化財等看板修繕

件数 3 件 金額 193,410 円

京丹後市指定文化財等の看板 3 基について修繕した。

(3)コウノトリ関連事業

今年度も、京丹後市内で営巣したコウノトリのペアは、5 羽のヒナが生まれたものの、雄親が事故死となった。このため観察体制を整備強化することとなった。その後、兵庫県立コウノトリの郷公園の協力のもと、同施設へ 5 羽のヒナの収容を行い、久美浜町で再び解放することとなった。これらについてマスコミへの情報提供や、京丹後市のホームページの更新などにより市民へ向けての情報提供も行った。

(4)網野銚子山古墳史跡地内用地買上事業

国指定史跡網野銚子山古墳について、平成 23 年度策定した「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき、古墳の保護を図るため史跡指定地内の用地買上を実施した。

買上筆数 18 筆 実測面積 10,421.55 m²

(指定地の実測面積 41,693.49 m²の 24.9%、市有地化率 80.3%)

(4)市史編さん事業

ア 市史編さん資料調査

日程	内容	場所
4月3日	京丹後市の自然環境打ち合わせ	佛教大学
4月25日	京丹後市の古地図打ち合わせ	佛教大学
5月6日～7日	建築調査	峰山町内
5月10日	古文書調査	弥栄町内
5月20日	自然・地理部会	佛教大学
6月7日～8日	近代史料整理作業	弥栄地域公民館
6月17日	近世・近代専門部会	京都府立総合資料館
6月19日	ポーリング調査	丹後町乗原地内
6月20日	社寺建築調査	久美浜町内
6月23日	京丹後市の自然環境調査	久美浜町箱石海岸
6月26日	民俗専門部会	帝塚山大学
6月26日	建築専門部会	京都府立大学
7月1日	古地図撮影打ち合わせ	丹後古代の里資料館
7月5日～8日	古地図撮影	丹後古代の里資料館ほか
7月29日～30日	近代史料整理作業	弥栄地域公民館
8月23日	古地図撮影	京都大学総合博物館
9月9日～10日	民俗専門部会	帝塚山大学
9月19日・20日	古地図調査	丹後古代の里資料館
9月24日	近世・近代専門部会	京都府立総合資料館
10月19日～20日	近代史料整理作業	弥栄地域公民館
11月8日	京丹後市の古地図打ち合わせ	佛教大学
11月11日	自然・地理部会	佛教大学
11月24日～25日	近代史料整理作業	弥栄地域公民館
12月14日・15日	小林善九郎文書調査	丹後古代の里資料館
12月21日	古文書調査	市内各所
3月2～4日	古地図撮影・調査	丹後古代の里資料館

日程	内容	場所
12月25日～26日	民俗専門部会	帝塚山大学
1月7日～8日	民俗専門部会	帝塚山大学
1月19日～20日	民俗専門部会	帝塚山大学
2月5日～6日	社寺建築調査	久美浜町内
3月20日	古地図調査	京都府立総合資料館

イ 京丹後市史本文編と資料編の刊行

資料編「京丹後市の民俗」 600冊（1冊3,800円で販売）

資料編「久美浜代官所関係史料集」 600冊（1冊2,600円で販売）

ウ 「小林善九郎関係文書調査報告書」の刊行

丹後震災後の峰山町で助役を勤めた小林善九郎に関する文書の調査報告書

300冊（関係機関へ配布、PDFを市ホームページに公開）

(5)埋蔵文化財

ア 埋蔵文化財発掘の届出件数 16件

イ 埋蔵文化財発掘調査・立会調査

発掘調査 2件（久住遺跡、奈具遺跡 京都府教育委員会実施）

立会調査 7件（文化財保護課実施分4件、京都府教育委員会実施分3件）

慎重工事指示 7件

ウ 調査報告書の刊行

『大耳尾古墳群発掘調査報告書』 平成26年3月28日刊行

旧峰山町が発掘調査を実施した大耳尾1・2・4・5号墳に関する報告書。

エ 市内遺跡分布調査

(ア) 概要 将来の開発に備え今後の文化財保護の調整を図るべく詳細遺跡分布調査を実施している。25年度は久美浜町域において実施。

(イ) 現地調査期間 平成25年12月2日～平成26年3月31日

(ウ) 成果 調査実施内で40基ほどの小規模古墳、3ヶ所の城館遺構を新規確認。また、既知の古墳のうち位置の訂正が必要なものを数ヶ所確認した。

(6)普及啓発事業

ア 第42回丹後震災記念展

平成26年3月7日(金)～11日(火) 会場：峰山地域公民館 入場者 200名

昭和2(1927)年3月7日に発生した北丹後地震(丹後震災)に関する展示を開催した。東日本大震災3周年にあたり被災地で活動をされている三陸ジオパークに関する展示コーナーを設けた。また関連行事として3月1日(土)に起震車体験、8日(土)に山陰海岸ジオパーク講演会「震災を伝える」が実施された。

イ 文化財セミナー

第1回「連続講座京丹後市の歴史を読み直す」平成25年7月8日(月) 13:30～15:00

会場 久美浜市民局2階 参加者：80名

講演 「仏像から探る久美浜の歴史」礪波恵昭氏

第2回「連続講座京丹後市の歴史を読み直す」平成25年7月15日(月) 13:30～15:30

会場 峰山地域公民館 参加者：60名

講演 「丹後地方の地震と活断層」岡田篤正氏

「我々の先祖は丹後震災をどう乗り越えたか」植村善博氏

第3回「連続講座京丹後市の歴史を読み直す」平成25年7月31日(水) 13:30～15:00

会場 峰山地域公民館 参加者：80名

講演 「こう見れば絵はわかる～峰山の障壁画と仏画から～」松浦清氏

ウ 「京丹後史博士」育成講座

数多くの歴史資料を有する京丹後市の歴史について、資料を見て・触れて・読む機会を作り、郷土の歴史を体感してもらい、資料から歴史を読み取る方法を学ぶことを目的とした。併せて郷土愛を育み、文化財を通して人の交流と地域活性への原動力となる地域リーダーやサポーター作りを目的として講座を実施した。

Aブロック： 大宮町 会場：アグリセンター大宮視聴覚室、大宮庁舎

番号	日時	内容	受講者数
A1	6月19日(水)	永浜宇平の生涯2	26人
A2	6月26日(水)	丹後分国の時代 ～寺院と木簡～	27人

Bブロック： 峰山町 会場： 峰山地域公民館 大会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
B 1	7月10日(水)	丹後建国1300年 丹後出土の埴輪と埴輪製作プロジェクト	28人
B 2	7月17日(水)	コウノトリの保護繁殖と野生復帰	25人

Cブロック： 弥栄町 会場： 弥栄地域公民館 大会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
C 1	7月31日(水)	日本の捕鯨史と丹後の捕鯨	28人
C 2	8月7日(水)	丹後府中の繁栄	25人

Dブロック 丹後町 会場： 丹後庁舎 204会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
D 1	8月21日(水)	アサギマダラ(蝶)とスナビキクソウ	24人
D 2	9月28日(水)	丹後の玉と鏡	27人

Eブロック 久美浜町 会場： 久美浜庁舎第1会議室

番号	日 時	内 容	受講者数
E 1	9月11日(水)	丹後の群集墳	32人
E 2	9月14日(土)	見学会 大宮売神社と浄妙庵の文化財	25人

Fブロック 久美浜町 会場： あみの図書館 集会室

番号	日 時	内 容	受講者数
F 1	10月2日(水)	丹後建国1300年 丹後出土の古代のガラス	24人
F 2	10月16日(水)	琴引浜 鳴砂の話	22人

うち B2、C1、C2、D1、D2、は外部講師
平成25年度延べ受講者数 313名

エ 丹後建国1300年記念シンポジウム 『丹後国風土記』の世界を旅する

丹後建国 1300 年を記念して、丹後国風土記に焦点をあて、羽衣天女の伝承、浦島伝承を題材にして古代丹後の社会を考えるシンポジウムを開催し記録集を刊行した。

日 時 平成 25 年 11 月 30 日 (土) 13:00～16:40

会 場 アミティ丹後 多目的ホール 参加者 250 名

内 容 基調講演 『丹後国風土記』の世界 その神話と伝承をめぐって
皇學館大學教授 荊木美行氏

講 演 『浦島太郎はどこへ行ったのか』

探検家・作家 高橋大輔氏

パネルディスカッション『丹後国風土記』から探る古代丹後

司 会 三浦 到 資料館長

パネラー 荊木美行 皇學館大學教授

” 高橋大輔 探検家・作家

” 糸井 昭 郷土史家

” 森 四郎 郷土史家

オ 丹後建国 1300 年記念事業 埴輪製作プロジェクト

『埴輪の世界 ～丹後王国へのいざない～』

丹後建国 1300 年を記念して、古墳時代の王の権威の象徴である埴輪づくりを通して、埴輪工人の技術を体感し埴輪について考える事業を実施した。実物大埴輪 70 点、2 分の 1 の埴輪 15 点。

○丹後古代の里会場

期 間 平成 25 年 10 月 2 日 (水) ～ 10 月 27 日 (日) 9:30～16:00

内 容 実物大埴輪 70 点、2 分の 1 程度の埴輪 15 点 来観者数 476 名

○琴引浜鳴き砂文化館会場

期 間 平成 25 年 10 月 30 日 (水) ～ 11 月 3 日 (日) 9:00～17:00

内 容 実物大埴輪 70 点、2 分の 1 程度の埴輪 15 点 来観者数 250 名

○峰山地域公民館会場

期 間 平成 25 年 11 月 6 日 (水) ～ 11 月 10 日 (日) 9:00～17:00

内 容 実物大埴輪 70 点、2 分の 1 程度の埴輪 15 点 来観者数 1200 名
(施設申請書から推計による)

カ 丹後建国 1300 年 上前智祐寄贈作品特別展

『 Chiyu Uemae 最初の始まり 上前智祐・さとかえりてん 』

大宮町奥大野出身の神戸市在住の現代美術の作家 上前智祐氏より京後市に寄贈頂いた作品の展示会を開催した。

期 間 平成 25 年 10 月 5 日 (土) ～ 11 月 11 日 (月) 9:00～17:00

会 場 大宮ふれあい工房

内 容 上前智祐寄贈作品 133 点の内、特徴的な作品 来館者 450 名

講演会 平成 25 年 10 月 6 日 (日) 13:30～15:00

講師 井須 圭太郎 (横尾忠則現代美術館学芸員)

演題 『上前智祐作品の世界』

会場 大宮ふれあい工房ホール 参加者 35 名

(7) 収蔵資料整理事業

収蔵写真整理事業

各町で保管されていた古い写真を整理し、活用するために、写真のデジタルデータ化を実施。
実施期間 平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月

2 文化財保護関係施設

(1)京丹後市デジタルミュージアム

京丹後市内の指定文化財を紹介するHPを開設している。

URL : <http://www.city.kyotango.lg.jp/kyoiku/bunka/shiryokan/digitalmuseum/index.html>

(2)琴引浜鳴き砂文化館

所在地：〒627-3112 京丹後市網野町掛津 56 TEL・FAX 72-5511

URL : <http://www.nakisuna.jp/>

入館料：大人 300 円・子供 100 円（団体 15 名以上大人 200 円）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌日）・年末年始

平成 13 年 10 月オープン。木造 2 階建。財団法人日本ナショナルトラストが建設した施設で、18 年度からは指定管理制度を導入し掛津区が管理運営を行っている。琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図っている。

平成 25 年度入館者数 9,143 名

(3)丹後古代の里資料館

所在地：〒627-0228 京丹後市丹後町宮 108 TEL 75-2431 FAX 75-2432

URL : <http://www.city.kyotango.lg.jp/museum/kodainosato/>

入館料：大人 300 円・子供 150 円（団体 15 名以上：大人 200 円・子供 100 円）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌日）・年末年始

平成 6 年 7 月オープン。鉄筋コンクリート 2 階建て（瓦葺）。常設展示室 1・企画展示室 1。公園に竪穴住居 3 棟・高床倉庫 1 棟（木造）を復元。陶芸・勾玉作り・火起し体験が可能。京丹後市域の歴史・考古資料を中心とした展示・収集・保管を行っている。

ア 平成 25 年度事業 平成 25 年度 入館者数 3,881 名

（ア）丹後建国 1300 年記念・丹後古代の里資料館夏季企画展示

「1300 年前の丹後～丹後国ができあがったころ～」展

期 間：平成 25 年 7 月 20 日（土）～9 月 8 日（日）

概 要：丹後国ができあがった 1300 年前のようすを、瓦・墨書土器など考古資料を中心にふりかえる展示

来館者数：697名

展示解説：7月27日（土）、8月4日（日）・18日（日）・25日（日）、9月8日（日）

（イ）丹後建国1300年記念・丹後古代の里資料館秋季特別展示1「丹後王国の世界」

期 間：平成25年9月14日（土）～11月4日（月）

概 要：弥生時代から古墳時代中期にかけての考古資料の優品を展示

来館者数：985名

展示解説：9月14日（土）・21日（土）・29日（土）、10月5日（土）・20日（日）、
11月3日（日）

（ウ）丹後建国1300年記念・細川ガラシャ生誕450年記念・丹後古代の里資料館秋季特別
展示2「松井康之と久美浜」

期 間：平成25年11月9日（土）～12月8日（日）

概 要：松井康之と玄圃霊三に関する史料や絵画の展示

来館者数：507名

展示解説：11月9日（土）・30日（土）、12月7日（土）

（エ）丹後建国1300年記念・丹後古代の里資料館冬季企画展示

「江戸時代後期の焼き物 ～久美浜焼・円頓寺焼を中心に～」

期 間：平成26年1月4日（土）～3月31日（月）

概 要：久美浜焼・円頓寺焼と豊岡市の高屋窯跡の資料を展示

来館者数：568名

展示解説：1月18日（土）、2月1日（土）・15日（土）、3月1日（土）・15日（土）

（オ）古代の里まつり 平成25年11月23日（土） 入館者133名

勾玉づくり体験、陶芸体験、民話紙芝居、火おこし体験

イ 減免申請 件数14件

ウ 丹後古代の里資料館展示ガイド「丹後王国の世界」作成

昨年度、リニューアルした常設展示の内容を解説した展示ガイド「丹後王国の世界」を作成し、販売を行った（1冊500円）。

(4)網野郷土資料館

所在地：〒629-3241 京丹後市網野町木津 823 TEL・FAX 74-0044

URL：<http://www.city.kyotango.lg.jp/museum/aminokyodoshiryokan/index.htm>

入館料：大人 200 円・子供 100 円（団体 15 名以上大人 120 円・子供 60 円）

開館日：火・土・日曜日（ただし年末年始は休館）

旧木津小学校の校舎を利用して昭和 52 年オープン。木造 2 階建（瓦葺）。小学校の教室を転用した展示室。京丹後市域の民俗資料を中心に古文書・古書籍等の展示・収集・保管を行っている。

ア 平成 25 年度事業 平成 25 年度入館者数 784 名

（ア）初秋企画「むかしの装い虫干し展」

期 間：平成 25 年 8 月 31 日（土）～9 月 24 日（火）

概 要：ふだんは収蔵している資料のうち被服関係の資料を展示

（イ）春季企画展「こどもの節句展」

期 間：平成 26 年 3 月 1 日（土）～5 月 6 日（火）

概 要：桃の節句のひな人形と端午の節句の鯉のぼりや武者幟を展示

（カ）網野郷土資料館まつり 平成 25 年 11 月 10 日（日） 入館者数 129 名

石人形作り体験、勾玉づくり体験、織りの実演、石臼体験

イ 減免申請 件数 11 件

3 指定文化財

(1)京丹後市内指定・登録文化財件数一覧表

指定区分	国指定	国登録	府指定	府登録	市指定	合計
建造物	2	13	4	8	11	38
絵画			3		15	18
彫刻	2		2		12	16
工芸品	1		4		11	16
書跡					3	3
古文書			1	1	1	3
歴史資料			1			1
考古資料	3		6	1	9	19
無形民俗文化財			3	8	3	14
有形民俗文化財					1	1
史跡	5		6		16	27
遺跡					1	1
名勝	1		1		1	3
天然記念物	2		1		11	14
文化財環境保全地区			3		2	5
文化的景観			2			2
合計	16	13	37	18	97	181

(国指定考古資料 1 件・府指定考古資料 2 件は、京丹後市内出土であるが、京都府所蔵)